

第一次世界大戦とアジア

①

ver. 8

教科書 ページ 198 ~ 205
ワーク ページ 4 ~ 9

第一次世界大戦

- ◎三国同盟
- ◎三国協商
- ヨーロッパの火薬庫

- ドイツ・オーストリア・イタリアが結ぶ **同盟国**
- イギリス・フランス・ロシアが結ぶ ○**連合国**
- ◎**バルカン半島**の呼び名

のちにアメリカも

日本も**日英同盟**を理由に参戦

オーストリアの皇太子夫妻がバルカン半島の**サラエボ**で暗殺される

→◎◎第一次世界大戦になっていく 日本は

→連合国側の勝利

中国に「◎◎21カ条の要求

→◎◎ベルサイユ条約 (**パリ**) 講和会議 ドイツの持つ山東省の権益を譲るなどの要求

ドイツは植民地を失い、多額の賠償金を払う

◎総力戦

戦争に、国民や経済、
資源を総動員すること

◎民族自決

いかなる民族も
多民族に支配されず
平等と独立を認められる

ロシア革命

- ◎◎ロシア革命の流れ

ロシアで皇帝に対し不満が爆発

ソビエト (代表会議) の結成

◎**レーニン**のもと、世界最初の**社会主義国** (◎◎**ソビエト社会主義共和国連邦**) ができる

社会主義

資本主義を批判する考え

銀行や工場などを**国有化**

私的な財産を認めず、共有することで貧富の差のない社会をつくらうという考え

レーニンの後に指導者になった**スターリン**が進めた**計画経済**

重工業の強化 農業の集団化

独裁を行う

◎◎**シベリア出兵** 資本主義の国である日本やイギリス、アメリカなどがロシア東部のシベリアに出兵

社会主義の運動が広がるのを恐れたため

- ◎共産主義

- ◎五か年計画

- ◎◎シベリア出兵

国際協調の時代

- ◎◎国際連盟

アメリカのウィルソン大統領が提唱→でも国内の反対で不参加

世界平和と国際協調のための国際機構

本部はスイスのジュネーブ

常任理事国はイギリス、フランス、イタリア、日本

新渡戸稲造が事務局次長に

◎◎**ワシントン会議** 太平洋地域の現状維持・中国の独立と領土の保全

海軍軍備の制限

日本が山東省の権益を中国に返す

その他には

イギリスやアメリカなどで女性に参政権が与えられる

◎**ワイマール憲法** ドイツの民主的な憲法

アジアの民族運動

- ◎**五・四運動**

○中国で起きた、反日運動、帝国主義に反対する国民運動

- ◎**三・一独立運動**

○朝鮮で起きた、日本からの独立を宣言

インドでは、◎**ガンディー**の指導のもと、非暴力・不服従を訴える